



Title	名誉教授松本雅男先生略年譜
Author(s)	
Citation	一橋論叢, 60(4): 449-456
Issue Date	1968-10-01
Type	Departmental Bulletin Paper
Text Version	publisher
URL	http://doi.org/10.15057/2578
Right	

名誉教授松本雅男先生略年譜

明治三十七年（一九〇四年）

七月一六日

和歌山県伊都郡妙寺町丁之町一、五二四番地に、平原熊次郎の四男として生れ、のち松本喜平の養子となる。

明治四十四年（一九一一年）

四月

和歌山県伊都郡妙寺町丁之町尋常小学校入学。

大正六年（一九一七年）

三月

同校卒業。

四月

和歌山市立和歌山商業学校入学。

大正十一年（一九二二年）

三月

同校卒業。

四月

山口高等商業学校入学。

大正十四年（一九二五年）

三月

同校卒業。

四月

歩兵第八聯隊へ入営。

(117) 名誉教授松本雅男先生略年譜

大正一五年（一九二六年）

七月

同聯隊退營。

八月

家業（肥料商）自營。

昭和二年（一九二七年）

八月

命私立青島学院商業学校教諭。

昭和三年（一九二八年）

三月

任青島日本総領事館立青島学院商業学校教諭。

四月

依願免本職。

四月

東京商科大学本科入学。

昭和四年（一九二九年）

三月

歩兵少尉。

昭和五年（一九三〇年）

四月

叙正八位。

昭和六年（一九三一年）

三月

東京商科大学本科卒業。

三月

任彦根高等商業学校助教諭。

昭和七年（一九三二年）

二月

宮本金七長女サタと結婚す。

(119) 名譽教授松本雅男先生略年譜

一〇月 任彦根高等商業學校教授。叙高等官七等。
十一月 叙從七位。

昭和九年（一九三四年）

三月 長女慶子生まる。
十一月 叙高等官六等。
十二月 叙正七位。

昭和一〇年（一九三五年）

一二月 工業経営及び原価計算研究のため滿一年半独逸國に留学を命ぜらる。

昭和一一年（一九三六年）

二月 独逸國へ出発。
五月 伊太利國及び亞米利加合衆國を在留國に追加す。

昭和一二年（一九三七年）

三月 叙高等官五等。
三月 在留期間、昭和一三年二月二八日まで延期さる。
三月 叙從六位。

昭和一三年（一九三八年）

二月 帰朝。

昭和一四年（一九三九年）

八月 叙高等官四等。
八月 叙正六位。
十一月 長男興太郎生まる。

昭和十五年(一九四〇年)
三月 長男興太郎死す。
十二月 次男滋夫生まる。

昭和十六年(一九四一年)
四月 任東京商科大学予科教授。高等官四等。

昭和十七年(一九四二年)
四月 叙高等官三等。
四月 叙従五位。

昭和十八年(一九四三年)
四月 次女祥子生まる。
一〇月 能率委員会臨時委員を命ぜらる。

昭和十九年(一九四四年)
四月 叙勲六等授瑞宝章。
一〇日 臨時召集に依り歩兵第六一聯隊補充隊に應召、補独立歩兵第六四大隊付。

昭和二十年(一九四五年)

七月 補第六方面軍司令部付。

昭和二十二年（一九四六年）

四月 勅令第一九三号第一八条に依り文部教官（2級）となる。

五月 召集解除。

八月 教育職員適格審査委員会に於て適格と判定さる。

昭和二十三年（一九四七年）

三月 三女照子生まる。

昭和二十三年（一九四八年）

五月 大学設置委員会資格審査合格。

昭和二十四年（一九四九年）

六月 一橋大学教授に補せらる。兼ねて一橋大学東京商科大学予科教授に補せらる。

昭和二十六年（一九五一年）

三月 公職適否審査委員会に於て第九九三八号を以て非該当と判定せらる。

七月 通商産業省産業合理化審議会管理部会専門委員を命ぜらる。

九月 一橋大学商業科教育指導者講習講師を命ぜらる。

昭和二十七年（一九五二年）

七月 昭和二十七年度一橋大学現職教育講座講師を命ぜらる（原価計算）。

昭和二八年(一九五三年)

四月 大学院商学研究科担当を命ぜらる。

六月 山口大学経済学部講師に併任さる。期間は昭和二九年三月三十一日までとする。

昭和二九年(一九五四年)

四月 山口大学経済学部講師に併任さる。期間は昭和三〇年三月三十一日までとする。

八月 信州大学文理学部講師に併任さる。期間は昭和三〇年三月三十一日までとする。

十一月 大学院委員会委員を命ぜらる。

昭和三〇年(一九五五年)

一月 蘭系価格安定審議会専門調査員に併任さる。

四月 大学院学務委員を命ぜらる。

四月 公認会計士審査会試験委員(第二次)に併任さる。

一二月 山口大学経済学部講師に併任さる。期間は昭和三一年三月三十一日までとする。

昭和三一年(一九五六年)

四月 公認会計士審査会試験委員(第二次)に併任さる。

九月 一橋大学東京商科大学教授に併任さる。任期は昭和三七年三月三十一日までとする。

一二月 農林漁業用固定資産評価審議会委員に併任さる。

昭和三二年(一九五七年)

四月 公認会計士審査会試験委員(第二次)に併任さる。

九月 一橋大学学術講座委員を命ぜらる。任期は昭和三三年八月三十一日までとする。

(123) 名譽教授松本雅男先生略年譜

昭和三年（一九五八年）

- 一月 長女慶子、丸山愛次郎三男丸山昭と結婚す。
- 五月 公認会計士審査会試験委員（第二次）に併任さる。

昭和三四年（一九五九年）

- 五月 公認会計士審査会試験委員（第二次）に併任さる。
- 九月 原価計算特に中小企業における原価計算研究のためアメリカ合衆国へ出張を命ぜらる。出張期間は昭和三四年九月二四日より昭和三四年十一月一八日までとする。
- 九月 羽田空港出発。
- 十一月 帰国。

昭和三五年（一九六〇年）

- 二月 一橋大学評議員に併任さる。任期は昭和三六年三月三十一日までとする。

昭和三六年（一九六一年）

- 四月 図書委員を命ぜらる。任期は昭和三八年三月三十一日までとする。
- 四月 教職課程委員を命ぜらる。任期は昭和三八年三月三十一日までとする。
- 五月 公認会計士審査会試験委員（第二次）に併任さる。
- 一一月 商学博士の学位を授与さる。
- 一一月 中小企業振興審議会専門委員に併任さる。

昭和三七年（一九六二年）

- 五月 公認会計士審査会試験委員（第二次）に併任さる。
- 六月 一橋大学商学部付属産業経営研究施設に併任さる。任期は昭和三八年三月三十一日までとする。

昭和三八年（一九六三年）

- 六月 一橋大学商学部付属産業経営研究施設長に併任さる。任期は昭和四〇年五月三十一日までとする。
- 六月 九州大学経済学部講師に併任さる（管理会計）。

昭和三九年（一九六四年）

- 十一月 企業会計審議会委員に併任さる。

昭和四〇年（一九六五年）

- 六月 九州大学経済学部講師に併任さる（管理会計）。

- 六月 一橋大学商学部付属産業経営研究施設運営委員を命ぜらる。
- 十一月 企業会計審議会委員に併任さる。

昭和四一年（一九六六年）

- 四月 一橋講堂運営委員会委員を命ぜらる。任期は昭和四三年三月三十一日までとする。

- 四月 一橋大学学術講座委員会委員を命ぜらる。任期は昭和四二年三月三十一日までとする。
- 六月 一橋大学商学部付属産業経営研究施設に併任さる。任期は昭和四二年五月三十一日までとする。

昭和四二年（一九六七年）

- 四月 一橋大学学術講座委員会委員を命ぜらる。任期は昭和四三年三月三十一日までとする。

昭和四三年（一九六八年）

- 三月 停年制により一橋大学を退官す。

- 四月 一橋大学学則により一橋大学名誉教授の称号を授与さる。
- 四月 成蹊大学経済学部教授に任命さる。